

院内医療事故調査教育セミナー2015

— 院内における医療事故調査方法の基本 —

(会期) 2015年8月8日(土)～8月9日(日) 受付開始: 8月8日午前9時
(会場) ~~東大法文2号館2階31番講堂(定数700名)~~ ⇒ **東大安田講堂(定数1100名)** …東大本郷キャンパス正門付近
東京都文京区本郷7-3-1 (地下鉄丸の内線ないし都営大江戸線本郷三丁目駅下車・徒歩10分)
(主催) 国際医療リスクマネジメント学会 (後援) 日本医療安全学会

(受講対象者) 国際医療リスクマネジメント学会の会員、日本医療安全学会の会員、医療安全管理者、臨床リスクマネージャー、医薬品安全管理者、歯科医療安全管理者、医療機器安全管理者、医師、看護師、薬剤師、歯科医師、臨床工学技士、放射線技師、歯科衛生士、その他の医療従事者。

(趣旨) 厚労省では全国の医療施設に対して医療事故調査の発生時に院内における医療事故の原因調査を義務化しました。本教育セミナーは医療機関で安全管理業務を担当される方を対象に、院内事故調査に必要な基本知識を講義します。また、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度の必須科目でもあります。参加者には受講終了書を発行します。

プログラム

2015年8月8日(土) 午前10時～午後4時 『医療事故調査の現状と課題』

- 10:00～11:20 「病理解剖による死因究明の実態」 深山 正久 (東京大学医学部人体病理学・病理診断学分野教授)
11:30～12:30 「患者・家族の立場から 院内医療事故調査への要望」 勝村 久司 (患者の立場で医療安全を考える連絡協議会世話人)
13:30～14:20 「司法の観点から 院内医療事故調査制度における重要点」 北野 文将 (名古屋大学医学部附属病院医療の質・安全管理部弁護士)
14:30～15:20 「事故調査結果を遺族と共有するために」 松村 由美 (京大病院医療安全管理室病院教授)
15:30～16:00 質疑応答 司会 長尾 能雅 (名古屋大学医学部附属病院医療の質・安全管理部教授、副病院長)

2015年8月9日(日) 午前10時～午後5時 『院内医療事故調査の基本的な方法』

- 10:00～12:30 「医療事故調査制度の理解」
平時からの備え / 医療事故調査支援センターに報告するか否かを判断する / 医療事故調査センターに報告する / 必要な支援を検討する / 初期段階に必要な対応 / 院内事故調査委員会を設置する
木村 壮介 (日本医療安全調査機構専務理事、中央事務局長)
南須原 康行 (北海道大学医学部附属病院医療安全管理部長、診療教授)
- 13:30～16:30 「院内医療事故調査の実際」
臨床経過・背景を把握する / 分析する / 再発防止策を立案する / 報告書を作成する
調査結果を遺族に説明する / 医療事故調査・支援センターに報告書を提出する
長尾 能雅 (名古屋大学医学部附属病院医療の質・安全管理部教授、副院長)
宮田 哲郎 (国際医療福祉大学臨床医学研究センター教授)
南須原 康行 (北海道大学医学部附属病院医療安全管理部長、診療教授)
- 16:30～17:00 質疑応答 司会 長尾 能雅 (名古屋大学医学部附属病院医療の質・安全管理部教授、副病院長)

参加申込締め切り: 2015年7月28日(月)

定数(700名/1050名)になり次第、登録受付を閉め切ります。

参加費は下記ホームページに掲載した申込書をご覧ください。

担当事務局

国際医療リスクマネジメント学会本部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

(Tel/Fax) 03-3817-6770

(電子メール) head.office01@iarmm.org

院内医療事故調査教育セミナー2015 ホームページ

<http://www.iarmm.org/J/HAS2015/>